

# Press-release/E-flashから

『ITUジャーナル』編集部

## Press-release

① 7月25日:

ITUとinfoDev、オンラインで法規制情報を提供  
政策立案者が必要とする法規制の最新情報・分析結果が  
即座に入手可能に

ITU and infoDev Launch New Online Regulation  
Toolkit

Policy makers worldwide get instant access to the  
latest information and analysis on key regulatory  
issues

(出典: [http://www.itu.int/newsroom/press\\_releases/2005/08.html](http://www.itu.int/newsroom/press_releases/2005/08.html))

### ITUとinfoDevによる同時発表

ITUとinfoDevは、ICTの急速な進展に伴って生じてくる様々な問題に対処するための1方策として、オンラインによる法規制情報(ツールキット)の提供を開始した。このウェブベースのツールキットは、ICTを社会の発展のために有効に活用していこうというマルチドナー・プログラムであるInfoDevが、2000年に印刷物として発行した、“Telecom Regulators' Handbook”をベースに、内容を拡充・アップデートし、国や地域の規制機関、ICT政策関係者向けに編集し直したものである。規制機関のほとんどは、過去10年以内に設けられたものであり、現在世界中で約140か国に設置されているが、その多くは国家のICT自由化政策の一部として位置付けられている。このため、法規制や成功事例に対する、公平で信頼のおける情報が必要とされている。ツールキットは、更新しやすいように幾つかのモジュールで構成されており、今回オンラインで提供しているものは、電気通信サービスの許認可に関するモジュールである。認可取得方法や競争免許取得手続、また、最近のトレンドである、手続の簡素化、市場参入障壁の低減施策といった内容が取り上げられている。その他のモジュールは、2006年までにオンライン化の予定で、内容は、規制の法的・制度的見解、相互接続、価格規制と競争、新技術と規制への影響、無線周波スペクトルの管理である。各モジュールには包括概要があり、利用者はその中から関連サイトへのリンク等により、更に詳細な内容や図表を得ることができる。このツールキットの内容は定期的に更新される。

また、このツールキットは、毎年開催されているITU世界規制体シンポジウム、GSR (ITU Global Symposium for Regulators: 今年はチュニスのハマメットで、11月14~15日に開催)と、11月16~18日に同国で開催されるWSISで展示される。

本ツールキットを利用したい方は、下記URLへ。

<http://www.ictregulationtoolkit.org/>

## E-flash

② ITU-T e-Flash No.18 (7月19日)

(出典: <http://www.itu.int/ITU-T/e-flash/018-jul05.html>)

・WTO報告、ITUの役割を重視

### WTO Report Highlights ITU's Key Role

WTO (World Trade Organization) が発行した世界貿易報告2005において、ITUは49ある国際標準化機関の中で、WSC (World Standards Cooperation) のパートナーであるISO、IECと共に、“最重要” 機関と評価された。世界標準は、国際間での技術的な互換性を可能とし、海外で生産された製品であること、あるいは外国で組み上げられたという情報を消費者に開示する源になるとともに、処理コストを減少させ、国際的な物流取引を促進していると評している。

・ICT標準のインパクト調査

### Survey on the Impact of ICT Standards

欧州委員会は、NO-RESTというプロジェクトの一環として、ITUのメンバーに対し、ICT標準の世界的なインパクトを評価するためのアンケートに答えるよう要請している。NO-RESTは、将来、より良い標準をつくり出せるように知見を収集・提供することを目指しており、ある標準をつくるためには、どのような機関が適しているかなどのガイドライン作成に発展する可能性もある。この調査の結果は、9月21~23日の間、ジュネーブでITUが後援するSIIT 2005会議で公開される予定。

・会合報告を公開

### Meeting Reports Made Publicly Available

ITU-Tにおける初めての試みとして、携帯電話ネットワークを扱うSG19の最新の会合報告を、ウェブ上で公開することにした。SG19の他のドキュメントも実験的

に公開しており、これら閲覧可能なドキュメントは、ウェブサイト上に赤字で 'public access' と書いてある。この公開は、WTSA (World Telecommunication Standardization Assembly) 及びTSAG (Telecommunication Standardization Advisory Group) の決定によるものであり、2006年の末まで続ける予定である。本トリアルの目的は、ITU-T、特にSG19の活動に興味を持っている人たちや学生、アナリスト、及びジャーナリストなどに技術的な作業の流れや標準化の過程を正しく理解してもらうことにある。ただ、営業上、法律上あるいは他に差し障りがあるような場合もあるので、すべてのドキュメントを公開しているわけではない。

・WWWイベント、標準化の重要性を強調

Standards Importance Highlighted at WWW event

WWW (the world wide web) の発明者、ティム・バーナーズ・リーは、フランスのソフィア アンティポリスで最近開催されたイベントにおいて、標準化の重要性を強調した。ITUからは、ITU-Tのパオロローザが代表として出席した。ヨーロッパで行われたW3C (the world wide web consortium) 10周年記念日に講演したバーナーズ・リーは、標準があればこそ、ハードウェア、オペレーティングシステム、ブラウザ、接続、及び検索サービスなどといった異なったレイヤーを独自に発展させることができ、結果として、良いものが早くできるようになると述べた。国際的なICT標準を、他と重複することなく、より効率的に作成するため、ITU-Tは、他の標準化組織と同様にW3Cとの関係強化を図っている。バーナーズ・リーは、ビジネスではしばしば二者択一の難しい状況に遭遇するが、標準化とするか独自路線で行くかという場合には、自分は標準化を選択する方がリスクが少ないと考えていると述べ、ITUからの質問に対しては、標準化の作成に加わることで、会社はマーケットニーズに的確に対応できるようになると述べた。バーナーズ・リーのプレゼンテーションは、以下で見られる。

<http://www.w3.org/2005/Talks/w3c10-TimBernersLee/>

・固定と携帯の融合に関する論文募集

Call for Papers on Fixed Mobile Convergence

2005年9月12～14日まで、ウクライナのキエフで開催されるワークショップ、Mobile Communications and Fixed/Mobile Convergenceでの論文発表者が募集されている。現在、世界的にモバイルユーザーが固定ユーザーを上回ってきており、固定とモバイルのネットワークの関係を根本から見直すことが必要となってきている。このため、世界で進められている移動体通信ネットワーク、固定と移動の融合及び現在の移動網からIMT-2000又は

NGNへの移行などの事例研究に注目が集まっている。

・ITU-Tミーティングで技術的チュートリアル

Technical Tutorials Given at Recent ITU-T Meeting

ジュネーブで開催されたStudy Group 5会合で、2つの技術的なチュートリアル・セッションが開かれた。

SG5は電磁的環境影響からの防護を研究するグループであるが、チュートリアル・セッションは、電磁的環境影響に関する標準化を検討する上で、踏まえておくべきバックグラウンドの知識を習得するために行われた。1つ目のセッションは、IEC SC 77C (大電力の過渡現象)の委員長William Radaskyを講師として、大電力電磁気現象のような電磁気の脅威とそれがシステムに及ぼす影響と対処策について、2つ目のセッションは、ホームネットワークの構造、伝達技術、セキュリティ、サービス品質、管理、家庭環境における電磁気環境適合性(EMC)及び電磁気漏洩問題に関する内容を、Study Group 9と共同で行った。

・車のICT諮問委員会会合

ICT in Cars Panel Meets

自動車に関係した電気通信標準化協力諮問委員会(APSC TELEMov: the Advisory Panel for Standards Cooperation on TELEcommunication related to MObile Vehicles) 会合が、ジュネーブで開催された。会合では、2005年3月にITU-Tが開催した“完全ネットワーク化された車-自動車のICTワークショップ”での提言、アクションプランの作成、同業他社との協力強化、他イベントへの参加などを再確認した。ITS America (the Intelligent Transportation Society of America) の通信と標準化のディレクターであるPaul Najarianは、諮問委員会は、既にITU、ISO、ETSIなどとの間の協力を強化する点で十分成功しており、ITU-T Study Group 12とISO/TC22との協力関係はその証左であると述べている。

③ ITU-D e-FLASH No.13 (8月1日) :

(出典: <http://www.itu.int/ITU-D/e-flash/2005/aug.html>)

・WTDC-06に向けたアフリカ地域準備会合開催

The RPM for the Africa Region agrees on development regional initiatives in view of their contribution to WTDC-06

2005年7月5～7日まで、ナイジェリア連邦共和国の首都アブジャにおいて、WTDC-06に向けたアフリカ地域準備会合が開催された。本会合は、ナイジェリア連邦共和国政府の招請でBDTが開催したもので、43か国の政府から大臣20名を含む175名、ITU-Dセクターメンバー25名、オブザーバー8名の計208名が参加した。同会合

では、WTDC-06に向けて、参加者数の確保のみならず高官の参加を約すなどの意欲を示した。

- ・ ITU、サモア及びソロモン諸島の通信疎通支援プロジェクトに着手

The ITU embarks on a connectivity project in support of ongoing efforts by Samoa and Solomon Islands

ITUのLDCユニットとe-戦略ユニットは、サモアとソロモン諸島の各10か所に多目的コミュニティー情報センターを開設するプロジェクトに着手した。本プロジェクトは、現地専門家と共に進めており、同センターは、地域の住民に電話及びICTサービスを提供するためのアクセスポイントとなるものである。

- ・ アフリカに新しいITUセンターオブエクセレンス (CoE)

A new node for the ITU Centre of Excellence (CoE) in Africa

ナイロビに本拠を持つAFRALTI (the African Advanced Level Telecommunications Institute) のCoEコーディネーションユニットとガーナテレコムトレーニング・カレッジ (GTTC) との協力により、ITUはアフリカの英語圏国にセンターオブエクセレンス (CoE) を拡大した。両者は、通信及びICT分野での人材育成や訓練について協力していくことで合意した。

- ・ ITU、e-ラーニングにより、初の大学院教育プログラムを開始

ITU launches for the first time an online postgraduate programme delivered through the ITU e-Learning Centre

ITU-BDTは、アメリカ地域のセンターオブエクセレンスを使って、オンラインによる通信技術に関する大学院プログラムを開始した。

- ・ ITUとInfoDev、オンラインでICT法規制情報を提供  
ITU and infoDev launch new online ICT Regulation Toolkit

本号①のプレスリリースと内容が重複するので、ここでの翻訳は割愛する。

- ・ ITU、NORAD及び国連大学が共同で、アフリカの学術科学施設を支援

ITU, the Norwegian Development Agency (NORAD) and the United Nations University (UNU) team up to support African academic and scientific institutions

ノルウェー開発機関 (NORAD) からの資金援助のもと、ITUと国連大学 (UNU) は共同で、アフリカの学術

科学施設を支援するためのイニシアチブ「アフリカ大学ネットワーク (AFUNET)」をスタートした。

- ・ WSIS行動計画の目標達成のため、ジェンダー問題もITU活動の主題に

Gender mainstreaming in ITU development activities, in furtherance of the goals of the WSIS Plan of Action

2005年6月24～25日に韓国のソウルにおいて、WSIS2005に向けたICT及びジェンダーに関するフォーラム (WSISテーマ別会合) が開催された。本フォーラムは、ITU、アジア太平洋女性情報ネットワークセンター (APWINC) 及び韓国デジタル・オポチュニティ&プロモーション (KADO) が共同開催したもので、WSIS-2005では情報社会における性差撤廃を盛り込むべきであるとされた。

- ・ NGNに向けたネットワーク移行に関し、BDTが各国を支援

BDT assists countries in network planning for evolving network architectures, in preparation for the transition to next generation networks (NGNs)

2005年6月20～24日、セルビア・モンテネグロの首都ベオグラードにおいて、NGNへの移行のためのネットワーク設備の変更等に関する地域セミナーが開催された。本セミナーは、セルビア・モンテネグロ政府の招請によりBDTが開催したもので、通信業界、政府、市民社会、民間企業から約70名が参加した。

- ・ ITU、アジア・オセアニアにおける通信及びICTサービスの地域セミナーを開催

ITU reviews progress on telecommunication and ICT services for the Asia and Oceania Region

2005年5月31日～6月3日まで、マレーシアのサイバージャヤにおいて、コスト及びタリフに関するアジア・オセアニア地域セミナーが開催された。本セミナーは、マレーシアの通信・マルチメディア委員会とITUが共同で開催したもので、技術の進歩や通信のグローバル化、ICTサービスが経済や個々の企業に及ぼす影響を周知・解説するために行われた。

- ・ ITU、人材の適正規模に関するワークショップを開催

ITU runs workshop on human resources rightsizing  
ITU、ウガンダ通信委員会、MTNウガンダ、Celtelウガンダ及びウガンダテレコムは、組織の適正化を進めるため、2005年6月14～17日まで、人材の適正規模に関するワークショップを開催した。